

## 民間商業施設等の木質化に向けた取組

### 1 はじめに

人口減少の進行に伴って主な木材の需要先である住宅の着工戸数の減少が見込まれることから、将来的に木材利用の減少が懸念されています。

このことから、これまで木材利用が進んでいなかった民間商業施設等の木造化・内装木質化等を進め、木材利用の拡大につなげることを目的に勉強会を開催しましたので、その内容を報告します。

### 2 地元関係者との情報交換会

当地域には製材加工や建築設計等を生業とする事業所等で構成される宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会(事務局:当林務室、以下「部会」という)があり、部会では、非住宅建築物における木材利用等に向け情報交換会を8月2日(水)に開催しました。

この中で、宮古市の中心商店街などで、店舗のリニューアルや新規創業の動きがあり、一部で内装の木質化を行った店舗等があるとの情報が得られました。

### 3 勉強会の開催

得られた情報を基に宮古商工会議所と打合せを行った中で①木造施設等が良いとは思っていても、選択には相応の理由がある、②木造施設の耐久性・コストに不安、③実際に木造施設等に触れる機会が少なく、木造が選択肢に上らない、といった意見が出されました。

このことを踏まえ、宮古商工会議所会員等を対象に、部会と共催で施設の木造化の契機としていただくため、10月4日(水)にうみマチひろば(宮古市)で勉強会を開催しました。

勉強会は2部構成とし、県庁林業振興課職員を講師に、岩手県「木づかい宣言」事業者の取組についての説明に続き、岩手大学山本信二教授を講師に「地場材利用の大切さ」と題して講演していただきました。



勉強会の開催状況



### 4 今後について

今回の勉強会では、周知期間等から予想したほどの参加がありませんでした。また、宮古商工会議所との打合せで出された3つの意見への対応が十分ではありません。

このことから、これらの意見に対応した勉強会や現地視察等の開催を検討していきます。

この勉強会を通じて、民間商業施設等において木造化・内装木質化等された施設が整備され、その施設をモデルルームとして位置付けた見学会等を開催して、更なる木質化の機運を高める好循環が継続していくよう、普及展開を図っていくこととしております。